


旧京橋火の見櫓



指定区分	国登録有形文化財(建造物)
読みかた	きゅうきょうばしひのみやぐら
所在地	岡山市北区京橋町
指定年月日	平成18年3月27日
解説	大正13年(1924)に京橋西詰に設置された、高さ21メートルの鉄骨造の警鐘台。四脚の山形鋼を建て、最上部には2m四方の望楼を載せ、鉄板製宝形屋根をかける。大正11年(1922)銘の警鐘も残っている。この警鐘台は、行商の傍ら慈善事業に尽くした坪田利吉が寄付した火見櫓の一つで、地域の歴史的景観の核として広く市民に親しまれている。
アクセス方法	岡山電気軌道「西大寺町」下車 徒歩約5分
公開状況	外観のみ
設備	隣に公衆トイレあり トイレ 
備考	